

GRADIA GUM

Total Esthetic Harmony



light-cured micro-ceramic-composite
for gum shade
with excellent lifelike esthetics

技工操作ステップ

基本築盛例	多層築盛例	1. ワックスアップ	2. シリコンコアの作製、窓あけ	3. メタルフレームの鑄造
		 <p>作業模型にワックス分離材(ジーシーセップ)を塗布し、歯冠部と歯肉部の外形をワックスアップします。</p>	 <p>シリコン印象材を用い、歯冠用シリコンコアを作製します。 (歯冠用シリコンコアについてはグラディアの取扱説明書をご参照ください。) 歯冠用シリコンコア作製後、通法に従い窓あけを行います。</p>	 <p>通法に従い、リテンションピースアドヘンシブIIを塗布後、乾燥させてからリテンションピースISSSを付与し、鑄造を行います。</p>
 <p>舌側面</p>	 <p>4. メタルフレームの前処理</p> <p>50μmのアルミナサンドでフレームをプラスト処理し、エアーガンにより接着面を清掃します。清掃後は接着面の汚染を避けるため、直ちに歯冠部分にメタルプライマーIIを塗布します。</p>	 <p>5. ファンデーションオバークの塗布・重合</p> <p>ファンデーションオバークを、歯冠部のメタルフレームのアンダーカット部に擦り込むように塗布・光重合(1分)します。この時、ガムとの移行部を考慮し、歯冠を長めに設計します。</p>	 <p>6. オバークの塗布・重合</p> <p>歯冠部の設計を考慮し、歯冠色オバークを塗布・光重合(1分)します。ガムとの移行部を考慮し、歯冠は長めに設計します。</p>	 <p>7. 歯冠部の築盛</p> <p>オバークは薄く伸ばすように塗布します。1度に厚く塗ると未重合になる可能性があるため2回に分けて塗布・光重合(各1分)します。</p>
 <p>舌側面 (グラディアの使用方法はグラディアの取扱説明書をご参照ください)</p>	 <p>8. ガムブロックの作製</p> <p>歯肉部を作製するにあたり、重合収縮によるメタルフレームの変形を避けるために、あらかじめジーシーポリエチレンフィルム越しに透明なペースト(G20)を圧接・光重合(3分)し、ブロックを作製します。</p>	 <p>歯肉部のメタルフレームにメタルプライマーIIを塗布し、透明なガムモディファイヤー(GM30)を薄く1層塗布します。この時アンダーカット部をきちんと埋めるよう注意します。</p>	 <p>あらかじめ表面にコンポジットプライマーを薄く塗布・光重合(1分)したブロックを、圧接・重合します。この時、確実に硬化させるためにラポライトLV-IIで最終重合と同じ時間の照射(3分)をしてください。ブロックを入れることで重合収縮を抑えるとともに、築盛部の厚みを一定にすることができ、この後の操作がしやすくなります。</p>	 <p>9. ガムオバークの塗布・重合</p> <p>注意 ブロックの厚みが5mm以上になる場合は、分割してブロックを作製・接着してください。ブロック同士を接着する際は接着面、被着面両方にコンポジットプライマーを塗布・光照射(各1分)した後に、GM30を接着面に塗布してブロックを圧接し、ラポライトLV-IIで最終重合と同じ時間の照射(3分)をしてください。また、ブロックの幅が横に長くなるようなケースも、上記のように分割し、接着してください。</p> <p>歯肉部の全面にガムオバークを薄く伸ばすように塗布・光重合(1分)します。1度に厚く塗ると未重合になる可能性があるため2回に分けて塗布・光重合(各1分)します。</p>

10. ガムの築盛・予備重合



必要に応じて、ガムオバークモディファイヤー(GOM51)を用いてアクセントをつけます。特に齦頬移行部の色調を表現するのに効果的です。



オバーク塗布後。



ガム(ボディ)を築盛・予備重合(30秒)します。

※ガムを広範囲に築盛する場合は、重合収縮によるメタルフレームの変形を抑えるために2~3歯程度ずつに分割して築盛・光重合(30秒)します。



長めに設計した歯頸部にコンポジットプライマーを塗布・光重合(1分)し、重ねるようにガム(ボディ)を築盛していきます。こうすることで、歯冠と歯肉の移行部を自然に上げることができます。

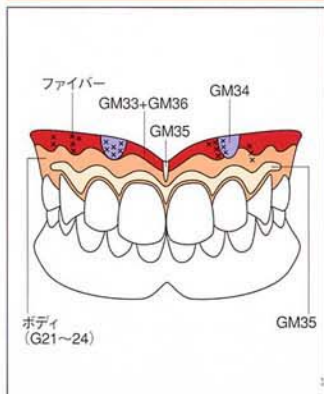


ガムを築盛・予備重合します。分割して築盛する場合は、重合収縮を抑えるため、先に離れた部位(①+②)を築盛・予備重合(30秒)したのちに間(③)を築盛して先に築盛した部位をつなぎます。



ガム(ボディ)築盛後。

モディファイ例



11. ガムモディファイヤーの築盛・予備重合



骨の形態や、齦頬移行部の色調を意識しながらガムモディファイヤーを築盛・予備重合(30秒)します。(GM36+GM33を混ぜて築盛)

※モディファイヤーを広範囲に築盛する場合は、重合収縮によるメタルフレームの変形を抑えるために2~3歯程度ずつに分割して築盛・光重合(30秒)します。



(GM35の築盛)



(GM32の築盛)

※ファイバーを使用する場合は、未重合層の上に載せるようにして固定します。その際、ファイバーが表層に出ないように、ガムトランス(GT41)などを1層築盛してください。



ガムモディファイヤー築盛後。

※モディファイヤーはケースによって混ぜて使用します。

12. トランスの築盛・予備重合



歯肉の深みを出すために、表層にトランスを築盛・光重合(30秒)します。色調を柔らかく仕上げたい場合はガムトランス(GT41)を、ダイレクトにモディファイヤー色を表現したい場合は透明色(G20・GM30)を築盛します。

※トランスを広範囲に築盛する場合も、2~3歯程度に分割して築盛・光重合(30秒)します。

13. 最終重合



表層にエアバリアー材を塗布した後に、ラポライトLV-IIIを用いて最終重合(3分)を行います。

14. 形態修正・研磨



通法に従い、形態修正・研磨を行います。なお、研磨の際にはダイヤモンドポリッシャーなどの特別な研磨材は必要ありません。

15. 完成



色調構成

OPAQUE オパーク (Liquid) 液	GUM OPAQUE ガムオパーク	GO11	GO12	GO13	GUM FIBER ファイバー GF71		
	GUM OPAQUE MODIFIER ガムオパークモディファイヤー	GOM51					
BODY ボディ (Paste) ペースト	GUM ガム	G20	G21	G22	G23	G24	
		GUM MODIFIER ガムモディファイヤー	GM30	GM31	GM32	GM33	GM34
MODIFIER モディファイヤー (Gel) ジェル							
TRANSLUCENT トランスルーセント (Gel) ジェル	GUM TRANSLUCENT ガムトランス	GT41					

※基本的なオパーク・ボディの組み合わせは、GO11-G21、GO13-G22(オレンジ系)、GO12-G23、GO13-G24(ピンク系)と設計しておりますが、色調に応じて組み合わせさせていただきます。



G21系統



G22系統



G23系統



G24系統

(写真は天然の歯肉です。)

GC

発売元
株式会社 ジーシー
東京都板橋区蓮沼町76番1号

☎ 0120-416480

製造元
株式会社 ジーシーデンタルプロダクツ
愛知県春日井市鳥居松町2丁目285番地

ジーシー グラティア ガム
歯冠用硬質レジン
医療用具承認番号 21400BZZ00186000号

硬化深度

	予備重合	予備重合 (ステップライト は不可)	最終重合 (ステップライト は不可)
ガムオパーク	—	0.2mm	—
ガムオパークモディファイヤー	—	0.2mm	—
ガム	1.1mm	—	2.5mm
ガムモディファイヤー	0.8mm	—	1.5mm
ガムトランス	3.0mm	—	5.0mm

※ステップライトの硬化深度は、光源から4～5mmの距離で重合した場合の数値です。

※G20・GM30の硬化深度はガムトランスと同じ数値です。

重合時間

ガムオパーク・ガムオパークモディファイヤー

	予備重合
ラポライトLV-II・III	1分
ラポライトLV-I	3分
コービー	20秒

※オパークの重合にステップライトは使用できません。

※コービーを使用する場合は、確実に重合させるために多方向から何度か重合を行ってください。

ガム・ガムモディファイヤー・ガムトランス

	予備重合	最終重合
ラポライトLV-II・III	30秒	3分
ラポライトLV-I	1分	5分
コービー	20秒	1分
ステップライト	10秒	

※最終重合にステップライトは使用できません。

※コービーを使用する場合は、確実に重合させるために多方向から何度か重合を行ってください。

注意点

1度に多量のペーストを築盛すると重合時の収縮でメタルフレームが変形してしまう可能性がありますので、2～3歯程度の大きさに分けて築盛・重合を行ってください。

ファイバーをお使いになる際はファイバーが表層に出ないように、表層にはガムトランスなどのジェル、もしくはG20などのペーストを築盛してください。

研磨は、ダイヤモンドポリッシャーを使用しなくても簡単につやが出るよう設計してあります。

本書は築盛テクニックのみについてのマニュアルです。
ご使用の際は必ず添付文書をお読みください。